

令和4年4月14日

令和4年度物流連 大学寄附講座スタート

青山学院大学経営学部において春学期の大学寄附講座はじまる

今年度は3大学(青学大、法政大、横国大)で開講

一般社団法人日本物流団体連合会(池田潤一郎会長)は、春学期の寄附講座を4月11日(月)から青山学院大学 経営学部で開講した。

昨年度3大学(青学大、都立大、横国大)での寄附講座はコロナ禍の影響でオンライン開催中心の講義であったが、今年度は3大学(青学大、法政大、横国大)で開講できることとなり、青学大では久しぶりの対面での寄附講座開講となった。

青山学院大学 経営学部における寄附講座は楠由記子教授がコーディネーターを務め、「現代の物流機能と経営」の講座名で開講した。4月11日(月)第1回目の講義では、当連合会事務局長 伊勢川光が講師を務め、物流の構成要素や物流発展の推移、国際物流の動向について「物流総論」をテーマに解説し、併せて物流の重要性と物流企業の魅力とやりがいを伝えた。今後もテーマごとに各企業から業界を代表する講師が計14回の講義を行う。(受講登録学生 200名、定員 200名)

青学大の講義教室ではコロナ対策としてマスク着用等の対策が取られた。講義の運営については、今後のコロナウイルス感染拡大等の状況により対面・オンライン併用またはオンラインだけの授業へ移行するなど柔軟に対応していく。

平成7年度より開講している本寄附講座を受講した学生は、約14,400名となり、講師自らの体験を踏まえた講義は大学・学生にも好評で、10月からは秋学期の寄附講座の開講が法政大学経営学部、横浜国立大学経営学部でも予定されている。

以上

事務局担当：磯貝

青山学院大学講義風景



物流連 伊勢川事務局長



青山学院大学 楠 教授